



明日への扉



学校教育目標：「夢に向かって挑戦」 <<Challenge for Dream>>

冬季通学中の安全について

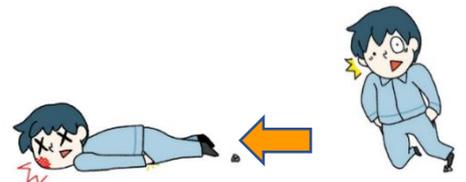
半袖でも十分過ごせる気温から、週末一気に気温が下がり、秋をあまり感じないまま冬の足音を感じます。これから更に冬の訪れに拍車をかけるかもしれません。日の入りも早くなり、暗くなるのも随分早くなりました。

冬季の登下校時に気を付けなければいけないことも増えてきます。学校でも随時指導していきますが、ご家庭でも、ご指導お願いします。

○ポケットに手を入れての歩行

寒くなくてもポケットに手を入れて、登校する子どもいます。手持ち無沙汰なのか、癖になっているかもしれません。

ポケットに手を入れたまま、つまずいた時には、多くの場合において、手をつけずに顔や頭をぶつけてしまいます。歯をぶつけてしまうと欠損や唇の裂傷の心配があります。また、目をぶつけた場合には視力低下も心配されます。



○フードをかぶっての歩行

少し空きがあるフードは首を左右に動かしても、フード自体は首と一緒に動きません。

絵のように視界が狭められ、左右の安全確認ができないことが多いです。とっさの場合、自身の安全を確保することが遅れます。

*通学中に限らず、休み時間・放課後でも起こりうることです。ご家庭でも指導ください。



～過信しない気持ちを～

日の入りも早くなり、17時には真っ暗です。習い事で、この時間帯から出かけたり、帰宅したりする子どもいます。子どもたちの中には、自動車やバイクのヘッドライトが明るくて、運転手には、自分（歩行者）の動きが見えているだろうと思っている子どもいるようです。そういった過信が思わぬ交通事故に巻き込まれることもあります。

小学生が事故に巻き込まれたりする中には、よく知っている場所で、親の目がちょっと離れた隙に起きるということもあります。命は何よりも大切なものであり、それに代わるものではありません。交通事故に限らずとも、非常災害、事件等に巻き込まれることもあります。「これくらい大丈夫だろう」ではなく、「もしかしたら」という考えをもつよう様々な場面で指導していきます。ご家庭でも、ぜひ話し合ってみてください。

足の小指をタンスの角や柱にぶつけて痛い思いをされたことありませんか？

実は、けっこう折れていること（ひび）があるようです。恥ずかしながら、今年の3月卒業式の1週間前に小指をぶつけて、ひびが入りました。固めての固定は難しく、テーピングでの固定しかできません。ついつい動いてしまい、完治に3か月要しました。冬季に入ると寒さと痛さで気づきにくいことがあります。過信しないこと、こういう場合にも必要です。